

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 野村鍍金 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市柳津町3丁目3番19号

(3) 業種

2464  
電気めっき業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1. 基本理念

私たちは、水、土、空気を汚すことなくモノ作りをすることで、生産活動と自然環境保護との両立を約束します。

2. 活動指針

- 1) 如何なる法令及び条例も必ず遵守します。
- 2) 如何なる事故や災害が発生しても環境汚染を起こさない設備を設置します。
- 3) 設備の可視化でメンテナンスを容易にし、事故の予防と異常の早期発見を達成します。
- 4) エネルギー使用量と産業廃棄物の低減に努め、環境負荷要員を根本から低減させます。
- 5) 社内環境基準を制定し、独自の厳しい管理基準を達成する為に、日々チェック機能の維持管理に努めます。
- 6) 活発な5S活動、事業所ごとの環境会議、社内環境基準の教育、監査を通して、これら活動方針を達成させる社員を育成します。
- 7) わが社の環境方針は、一般の方々に公開します。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和4（2022）年度
二酸化炭素	5,353	4,813

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	5,353	17.0	910	4,443		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	5,353	17.0	910	4,443		
温室効果ガス みなし排出量		-				
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は基準年度より排出量年1.0%の削減率 電気は中国電力株の実排出係数を使用					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 ( ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	A重油使用量を5%削減	蒸気配管の保温カバー劣化更新 不要な蒸気配管の撤去
2	電気使用量の削減	電気使用量を10%削減	高効率照明器具への更新 冷暖房温度の適正管理 工作機械の空転時間短縮 省エネ型電気機器への更新
3	5Sムダ取り活動	小集団活動	省エネ、省電力を含むあらゆる ムダ取り活動等の実施
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

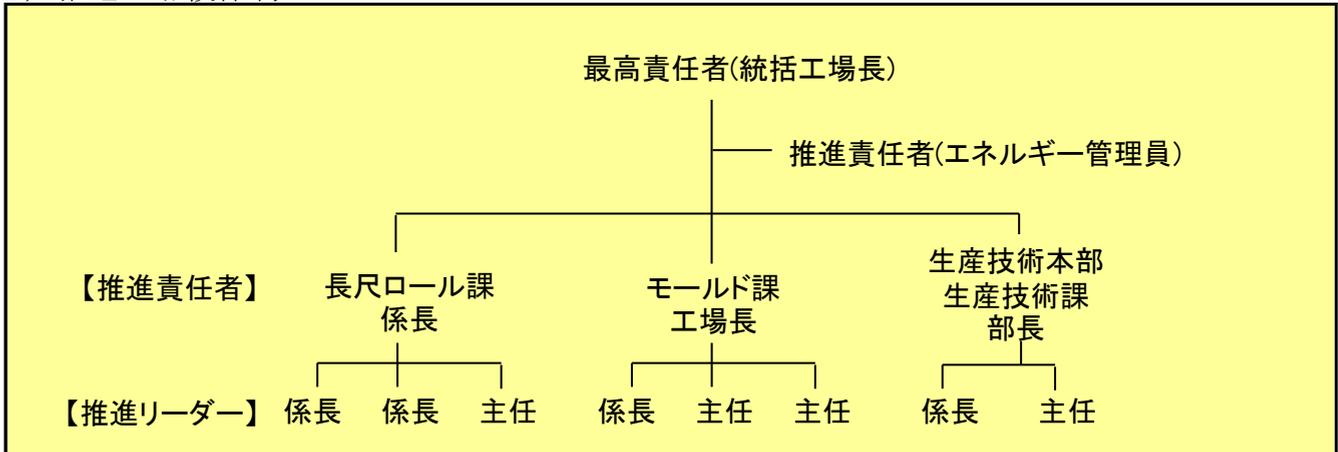
### ○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

各推進リーダーを中心として定期的(毎週)に5Sムダ取り会議を行い、温室効果ガス削減を含む省エネ活動の取組み状況の把握および問題点の検討をし、また、同会議において評価、見直し等も行い、継続的な向上を図る。  
また、毎年度の取組み状況、評価については掲示板にて公表する。

### (3) 計画書等の公表

・事業所への備え付けによる公表